平成２７年度　　# 算数部経営　　主任（　伊藤　　）

構成	１年	西村	２年	内田	３年	吉竹	４年	古賀
	５年	松永	６年	山田	担任外	伊藤　阿部		

本年度の重点・目標　努力点

○　数理的な事象に関心をもつとともに、算数を日常の事象と結び付け、作業的、体験的、探求的、発展的な活動などを通して、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

○　日常の事象を数理的にとらえ、自分の考えたことを表現したり、友だちに説明したりする活動を充実することで、より考えを進めたり深めたりして、見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てる。

○　計算の意味、図形の意味や性質などの理解を伴いながら、計算などの仕方を考える活動、式や図などに表す活動、繰り返し練習する活動などを通して、数量や図形についての数学的な表現や処理にかかわり、生活や学習の場面で目的に応じて適切に使っていける技能の定着を図る。

○　これまでに身に付けてきた知識及び技能を基に、児童の主体的な活動を通して、数量や図形についての豊かな感覚を育み、それらの意味や性質などについての理解を図る。

◇　数学的な思考力・表現力を育成するために、根拠を明らかにし筋道を立てて体系的に考えることや、言葉や数、式、図、表、グラフなどを関連させながら、それらを適切に用いて考えたり、説明したり、表現し伝え合ったりすることなどの活動を充実させる指導に努める。

◇　日常生活や他教科等との関連から、活動する場面の設定や、児童の実態に応じた習熟のための指導に努める。

◆思考力・判断力・表現力等を育むために、主体的に問題解決的な学習に取り組むことができるように、知識・技能を実際の場面や日常生活で利用する活動、問題解決の方法を考え、説明する活動等の算数的活動を充実させる。

◆　基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着のために、小・中学校における学習内容の系統性を踏まえた指導を行うとともに、既習事項を活用した授業を設定するように努める。

◆　各校における教育課程の編成及び年間指導計画の作成に際しては、北九州スタンダードカリキュラムを参考にする。

分担

各学年の算数担当

（算数教具室の鍵は、３年２組に保管）

備品整理

○　購入希望の調整

○　ホワイトボード、マーカーの点検

○　算数教具室の点検・整理

年間計画

一学期		二学期		三学期	
４月	備品の購入調査 年間指導計画の作成	９月		１月	
５月		10 月		２月	
６月		11 月		３月	備品・消耗品の点検 整備 算数教具室点検整備
7、8 月	算数教具室 点検・整備	12 月	算数教具室 点検・整備		